



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 ニチコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6996 URL <https://www.nichicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 茂雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員専務 広報・IR室長 (氏名) 近野 斉

TEL 075-231-8461

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	90,634	0.7	2,227	46.1	3,274	42.7	2,607	
2019年3月期第3四半期	91,300	7.0	4,133	9.7	5,718	1.6	7,499	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,921百万円 ( %) 2019年3月期第3四半期 12,932百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	37.48	37.27
2019年3月期第3四半期	107.70	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	153,165	81,949	52.0	1,165.02
2019年3月期	139,770	81,313	56.6	1,137.02

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 79,709百万円 2019年3月期 79,178百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		11.00		12.00	23.00
2020年3月期		12.00			
2020年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	0.1	2,500	54.3	3,500	50.9	2,500		35.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	78,000,000 株	2019年3月期	78,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,580,761 株	2019年3月期	8,362,873 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	69,569,348 株	2019年3月期3Q	69,637,492 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	9
(1) 所在地別業績	9
(2) 海外売上高	10
(3) 販売実績	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)のわが国経済は、企業の設備投資や雇用環境が改善するなか緩やかな回復を維持しているものの、外需の低迷により輸出・生産が落ち込んでおり、足元では停滞感が見られます。海外については、米国経済は、良好な雇用環境のもと個人消費が底堅く推移しましたが、製造業を中心に景気は減速傾向となりました。欧州経済は、自動車等の製造業を中心に成長の鈍化が見られました。また、中国経済は、米中貿易摩擦の影響により依然として輸出が低迷しており、設備投資の冷え込みや個人消費も落ち込むなど低調な推移となりました。

このような状況において当社は、IoTやAI、5Gなど、新たなキーテクノロジーの進展や低炭素社会へ向けての動きによって多様化する重点4市場「エネルギー・環境・医療機器」「自動車・車両関連機器」「白物家電・産業用インバータ機器」「情報通信機器」に引き続き注力しました。コンデンサ事業におきましては、世界経済の減速により自動車市場向け、インバータ・産業機器向け製品が低調となりました。一方で、自動車向けの中でも特にモータ駆動インバータ平滑用のフィルムコンデンサがEV、HVの進展によりグローバルに拡大を続けており、これに対応するため中国での生産ライン新設を進めています。また、新規事業ではIoTやウェアラブル機器、情報通信端末などに最適な小形リチウムイオン二次電池「SLBシリーズ」が、新型スマートフォン向けのスタイラスペン用バッテリーとして採用され大口の受注を獲得し、さらに自立電源型IoT環境センサーを産学連携で開発するなど幅広い用途への可能性を広げています。

NECST(Nichicon Energy Control System Technology)事業におきましては、当社の経営の新たな柱にすべく注力しました。「蓄電のニチコン」として家庭用蓄電システムのフルラインアップによるお客さまの幅広いニーズへの対応やFIT(固定価格買取制度)期間の終了、そして頻発する自然災害への備えを背景に家庭用蓄電システムの需要が拡大しており、生産拠点拡大やさらなる新製品開発を進めています。また、EV普及気運が高まるなか、系統連系が可能になった新型V2Hシステム「EVパワー・ステーション<sup>®</sup>」を市場導入し、太陽光発電とEVと蓄電池の3つをつなぐ「トライブリッド蓄電システム<sup>®</sup>」ともども好評をいただいています。加えて台風等の自然災害による大規模停電時にはEV、HV、FCVから電気を取り出す可搬型給電器「パワー・ムーバー<sup>®</sup>」が被災地での復旧支援にも貢献しました。政府は災害時における電動車の活用を促進するため、「災害時における電動車の活用促進に向けたアクションプラン案」を作成し、今後の防災計画に盛り込む検討を始めています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は90,634百万円と前年同期比0.7%の減収となりました。また、利益につきましては、営業利益は2,227百万円と前年同期比46.1%の減益、経常利益は為替差益が394百万円発生し3,274百万円と前年同期比42.7%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,607百万円(前年同期は7,499百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末(2019年3月末)に比べ13,395百万円増加し153,165百万円となりました。主な増減の内容は、仮払金などを含むその他の流動資産が前期末に比べ1,306百万円減少し1,894百万円となった一方で、現金及び預金が前期末に比べ10,870百万円増加し24,499百万円、有価証券・投資有価証券が前期末に比べ1,328百万円増加し33,408百万円となったことに加え、有形固定資産が前期末に比べ1,183百万円増加し32,993百万円となったことなどによるものです。

負債合計は、前期末に比べ12,760百万円増加し71,216百万円となりました。主な増減の内容は、未払金などを含むその他の流動負債が前期末に比べ1,885百万円減少し8,796百万円となった一方で、短期借入金・1年内返済予定を含む長期借入金が前期末に比べ2,064百万円増加し17,864百万円となったことに加え、転換社債型新株予約権付社債の発行により12,118百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前期末に比べ635百万円増加し81,949百万円となりました。主な内容は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益を2,607百万円計上し、配当金の支払を1,671百万円行ったことで、前期末に比べ936百万円増加し48,650百万円、その他有価証券評価差額金が前期末に比べ2,127百万円増加し11,999百万円となった一方で、自己株式を1,500百万円取得したことに加え、為替換算調整勘定が前期末に比べ1,032百万円減少し△671百万円となったことなどによるものです。これらの結果、自己資本比率は52.0%となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ17,422百万円収入が増加し3,549百万円の収入(前年同期は13,873百万円の支出)となりました。これは主に、売上債権の増加額が1,034百万円、たな卸資産の増加額が1,090百万円となったことに加え、課徴金の支払額が1,195百万円となりましたが、税金等調整前四半期純利益が3,441百万円、減価償却費が3,921百万円となったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ404百万円支出が減少し、3,125百万円の支出となりました。これは主に、有価証券・投資有価証券の売却及び償還による収入が3,118百万円となりましたが、有価証券・投資有価証券の取得による支出が1,264百万円となったこと、有形固定資産の取得による支出が5,230百万円となったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ1,416百万円収入が減少し、10,616百万円の収入となりました。これは主に、配当金の支払額が1,671百万円、自己株式の取得による支出が1,500百万円となったことに加え、長期借入金の返済による支出が2,336百万円となった一方で、設備投資資金等として社債発行による収入が12,120百万円、短期借入金の純増加が4,400百万円となったことなどによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ10,870百万円増加し24,499百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日（2019年3月期決算発表時）に公表しました内容を変更していません。

詳細につきましては、本日(2020年2月5日)公表しました「2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(業績の予想に関する留意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,628	24,499
受取手形及び売掛金	29,654	29,924
電子記録債権	3,980	4,399
有価証券	3,107	3,046
商品及び製品	9,346	9,398
仕掛品	5,437	5,580
原材料及び貯蔵品	7,320	7,953
その他	3,200	1,894
貸倒引当金	△50	△47
流動資産合計	75,626	86,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,696	12,392
機械装置及び運搬具(純額)	9,904	12,007
その他(純額)	9,208	8,593
有形固定資産合計	31,809	32,993
無形固定資産	1,132	926
投資その他の資産		
投資有価証券	28,971	30,361
その他	2,460	2,431
貸倒引当金	△230	△242
投資その他の資産合計	31,202	32,550
固定資産合計	64,143	66,470
繰延資産		
社債発行費	—	45
繰延資産合計	—	45
資産合計	139,770	153,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,200	11,909
電子記録債務	10,236	9,939
短期借入金	1,800	6,200
1年内返済予定の長期借入金	3,504	4,672
未払法人税等	863	750
賞与引当金	1,091	443
その他	10,682	8,796
流動負債合計	39,378	42,712
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	12,118
長期借入金	10,496	6,992
その他の引当金	1,314	1,378
退職給付に係る負債	1,862	1,629
その他	5,405	6,386
固定負債合計	19,077	28,504
負債合計	58,456	71,216
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,286	14,286
資本剰余金	17,068	17,068
利益剰余金	47,714	48,650
自己株式	△10,123	△11,624
株主資本合計	68,945	68,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,872	11,999
為替換算調整勘定	360	△671
その他の包括利益累計額合計	10,232	11,327
非支配株主持分	2,135	2,239
純資産合計	81,313	81,949
負債純資産合計	139,770	153,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	91,300	90,634
売上原価	74,897	76,767
売上総利益	16,402	13,866
販売費及び一般管理費	12,268	11,638
営業利益	4,133	2,227
営業外収益		
受取利息	139	80
受取配当金	439	449
持分法による投資利益	182	89
為替差益	739	394
その他	212	194
営業外収益合計	1,713	1,208
営業外費用		
支払利息	34	43
その他	94	118
営業外費用合計	128	161
経常利益	5,718	3,274
特別利益		
固定資産売却益	0	5
投資有価証券売却益	863	218
特別利益合計	863	223
特別損失		
固定資産処分損	49	56
独占禁止法関連損失	12,683	—
その他	102	—
特別損失合計	12,834	56
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,253	3,441
法人税、住民税及び事業税	1,031	652
法人税等調整額	66	14
法人税等合計	1,097	666
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,351	2,774
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	166
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,499	2,607



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,351	2,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,264	2,162
為替換算調整勘定	△346	△830
持分法適用会社に対する持分相当額	28	△184
その他の包括利益合計	△5,581	1,147
四半期包括利益	△12,932	3,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,085	3,702
非支配株主に係る四半期包括利益	152	219

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,253	3,441
減価償却費	3,193	3,921
投資有価証券売却損益(△は益)	△863	△218
独占禁止法関連損失	12,683	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,354	△1,034
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,881	△1,090
仕入債務の増減額(△は減少)	2,854	493
その他	△2,119	△493
小計	4,258	5,018
法人税等の支払額	△1,096	△760
課徴金の支払額	△17,579	△1,195
その他	544	486
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,873	3,549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△6,542	△1,162
有価証券の売却及び償還による収入	8,170	2,730
有形固定資産の取得による支出	△5,415	△5,230
投資有価証券の取得による支出	△402	△102
投資有価証券の売却による収入	1,533	387
その他	△874	251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,529	△3,125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	4,400
社債の発行による収入	—	12,120
長期借入れによる収入	14,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△2,336
配当金の支払額	△1,532	△1,671
自己株式の取得による支出	△0	△1,500
その他	△433	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,033	10,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	△161	△170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,530	10,870
現金及び現金同等物の期首残高	24,841	13,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,310	24,499

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,500百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が11,624百万円となっています。

(会計方針の変更)

一部の在外子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、リースの借手となる当該子会社は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することになります。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この変更による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)および当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

当社グループは、「コンデンサおよびその関連製品」の製造ならびに販売を主な事業としており、各拠点に製品の販売もしくは製造、またはその両方の機能を置き、本社はグループ全体の戦略を立案し、事業活動を展開しています。当社グループは、各拠点別を基礎とした事業セグメントから構成されており、経営意思決定および業績評価を行っていますが、当該事業セグメントの経済的特徴、製品およびサービスの内容、製品の製造方法または製造過程やサービスの提供方法などの要素が概ね類似していることから、「コンデンサおよびその関連製品」の単一の報告セグメントとしており、記載を省略しています。

## 3. その他

## (1) 所在地別業績

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア (百万円)	欧州他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	35,495	6,964	42,018	6,821	91,300	—	91,300
(2)所在地間の内部売上高又は振替高	26,667	0	8,179	—	34,847	△34,847	—
計	62,162	6,965	50,197	6,821	126,147	△34,847	91,300
営業利益	237	252	3,079	474	4,044	88	4,133

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	アジア (百万円)	欧州他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	43,715	6,292	34,930	5,695	90,634	—	90,634
(2)所在地間の内部売上高又は振替高	24,369	0	5,958	—	30,327	△30,327	—
計	68,085	6,292	40,888	5,695	120,961	△30,327	90,634
営業利益	382	147	1,045	306	1,883	344	2,227

## (2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

	米州	アジア	欧州他	計
I 海外売上高(百万円)	6,969	42,869	6,824	56,663
II 連結売上高(百万円)				91,300
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	7.6	47.0	7.5	62.1

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

	米州	アジア	欧州他	計
I 海外売上高(百万円)	6,297	35,636	5,696	47,630
II 連結売上高(百万円)				90,634
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	7.0	39.3	6.3	52.6

## (3) 販売実績

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日至2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日至2019年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減比 (%)
電子機器用	60,720	66.5	47,767	52.7	△12,952	△21.3
電力・機器用及び応用機器	8,794	9.7	11,380	12.6	2,585	29.4
回路製品	21,020	23.0	31,074	34.2	10,053	47.8
その他	764	0.8	411	0.5	△352	△46.1
合計	91,300	100.0	90,634	100.0	△665	△0.7